

重が少なく, その後も Dwarfism の状態が続くものであり, 小人症を出生前にまでさかのぼって考えるものである。

最近経験した 3 例の Intrauterine Dwarfism を報告した。3 例共に在胎 39 週以上, 生下時体重 2170 g 以下, 乳児期より身体発育は遅れ, 現在身長, 体重共に -3σ 以下であった。2 例に血縁関係を, 母の妊娠中の異常を 2 例に認めた。また全例に何らかの奇型の合併をみた。

ここで, 当科内分泌外来の下垂体小人症, 狭義の原発性小人症例では, 生下時体重はすべて 2500 g 以上, 小人症の発現は 3 才以後であった。故に, これら小人症例を十分に検討することで, 小児の成長, 成長ホルモンの役割等の未解決の問題へのいと口になるものと考えられる。

38. 重症心身障害児の内分泌機能

○成瀬 孟, 堀口東司, 中田益允
村田充範, 中島博徳 (千葉大)

重症心身障害児の内分泌機能検索の報告は, 従来少ない。われわれは, 教室の ^3H -prednisolone resin 摂取率による血中 Corticoids の間接測定法を用いて, 血中 Corticoids の Basal level, 日内変動, ACTH 試験, デキサメサゾン ACTH 抑制試験, Lysine-8-Vasopressin 試験など下垂体副腎皮質機能, およびトリオソルブによる甲状腺機能検査を行なった。その結果, これら心身障害児で血中 Corticoids の Basal level は低値を示すものが多いこと, 日内変動 (4 例に施行) が乱れを示すことを見出し, その他の機能検査は正常であったので, ACTH 分泌を調節する上位中枢の障害を推定した。本症児のみならず各種中枢神経系疾患の検索報告からも同様の推定がなされる。なお, 血中 Thyroxine level は全例正常であった。

39. 小児の慢性甲状腺炎

○藤森宗徳, 加藤元一, 新美仁男
中島博徳 (千葉大)

慢性甲状腺炎は中年の婦人に多い疾患として知られ, 小児における報告は少なく, 本邦では 18 才未満の報告さえないのが現状である。われわれは教室の内分泌外来の 18 才以下の機能正常な甲状腺腫患者 70 名について検索し, 21 名の患者を見出した。1 例を除き全例女性で, 初発年齢は 10~14 才に最も多く, 最少年令は 5 才であった。

針生検によって組織学的に診断されたものは 12 例で, その組織像はリンパ系細胞の浸潤が主体で, それに種々

の程度の濾胞上皮細胞の変性, 脱落, 増殖, 間質の線維化があり, 多彩な変化を示していた。

血中の Thyroglobulin 抗体は沈降反応, タンニン酸処理赤血球凝集反応, ラテックス凝集反応によって検索され, 慢性甲状腺炎患者でそれぞれ 5.5%, 77.7%, 68.8% の陽性率を示したが, 他の甲状腺疾患でも陽性が見られた。

臨床的には甲状腺腫は一部硬く触れるものが多く, 半数は腺葉が左右不同であった。また甲状腺剤が効かず, 副腎ステロイドが著効を示し, 全例腺腫は縮小または消失した。

いわゆる思春期性甲状腺腫と呼ばれるもののほかに高率に慢性甲状腺炎が存在し, その診断には針生検, 抗体の証明とともに臨床的症状が有用であることを知った。

質 問 吉田 亮 (千葉大)

① 慢性甲状腺炎の患者例の家族歴で, 関節リウマチ, リウマチ熱, SLE, 高 γ -グロブリン血症等の疾患のみみられる頻度はどうでしょうか。

② 他の組織, 特に腎等に特徴的な病理変化があるでしょうか。

③ 動物実験で, 慢性甲状腺炎をつくる方法をおききたい。

解 答 藤森宗徳 (千葉大)

1) 家族歴ではリウマチ性関節炎その他の疾患はありませんでした。ただリウマチ性関節炎では TA-テスト陽性を示すことがあると報告されておりますが, これは手技上の問題と考えます。また慢性甲状腺炎患者の家族にはかなりの頻度で同疾患があることは報告されており, われわれも同胞例, 母娘症例を経験しております。

2) サイログロブリン抗体によって他臓器に異常が生じるとは考えられません。また症例中に腎疾患等はありませんでした。

3) 自己免疫疾患の判定基準からも, 動物に実験的甲状腺炎は起こすことができます。

40. 小児甲状腺機能亢進症の治療成績

藤森宗徳, 堀口東司, 倉持正昭
新美仁男, 中島博徳 (千葉大)

小児の甲状腺機能亢進症は成人と比べ少なく十分解明されていない。特に治療法は困難であり外科的療法, ^{131}I 療法, 薬剤療法のいずれも一長一短である。小児では甲状腺ホルモン需要と関連して甲状腺機能低下症の発現が最も問題であるので治療法は成人と異なり薬剤療法が主であるが, この長期観察とし得た成績はない。今回教室の長期観察をし得た 8 例についての治療成績を報告